

熊本県看護協会 広報誌

看護くまもと

— KANGO KUMAMOTO —



日本看護協会キャラクター
「かんごちゃん」熊本県バージョン

Contents

- ▶ 表彰（令和5年度優良看護職員熊本県知事表彰 他） / 2p
- ▶ 看護の日記念式典および講演会 / 3p
- ▶ 令和5年度熊本県看護協会通常総会・職能別交流集会報告 / 4～5p
- ▶ 令和5年度 新役員・新支部長・新委員紹介 / 6～8p
- ▶ タスク・シフト / シェア / 9p
- ▶ 献血推進事業紹介 / 10p
- ▶ 新たな災害支援ナースの仕組み始まる / 11p
- ▶ 事務局だより・川柳募集 / 12p



LINE
熊本県看護協会公式



manaable
研修システム

会員数	保健師	462名
	助産師	376名
	看護師	13,165名
	准看護師	1,072名
	計	15,075名

(令和5年8月4日現在、会費納入者数)

表彰

令和5年度（2023年度）優良看護職員熊本県知事表彰受賞者（令和5年3月31日現在）
（令和5年5月10日受賞）

氏名	職能	施設	氏名	職能	施設
石田由紀子	看	済生会みすみ病院	葉玉 博子	看	熊本労災看護専門学校
岩井迫佐智子	看	ピネル記念病院	星原 妙美	看	人吉こころのホスピタル
倉富 明美	看	菊池恵楓園	松浦 洋子	看	和水町立病院
笹原あゆみ	看	介護医療院せいじの	村田 千福	看	さくら病院
千丈すま子	看	天草厚生病院	山部かおる	看	阿蘇医療センター
塚原由美子	看	国保水俣市立総合医療センター	吉田 節子	看	熊本地域医療センター
野中 理佳	看	山鹿市民医療センター			



（令和5年度優良看護職員熊本県知事表彰受賞者）

令和5年度（2023年度）熊本県看護協会会長表彰受賞者（令和5年3月31日現在）

（令和5年6月17日受賞）

推薦	氏名	職能	施設	推薦	氏名	職能	施設
有明支部	津田 恵美	保	くまもと県北病院	熊本南支部	久保 公子	看	熊本中央病院
	松村多鶴代	看	有明成仁病院		木庭 薫	看	済生会熊本病院
鹿本支部	田中 智子	保	山鹿保健所	上益城支部	葛山 ゆり	看	済生会熊本病院
	成瀬 信裕	看	東熊本第二病院		藁田 純子	看	訪問看護ステーションまいん
菊池支部	園田美智代	看	熊本セントラル病院	宇城支部	黒木あけみ	看	そよう病院
	阿蘇支部	馬原 京子	看	阿蘇立野病院	八代支部	神 美智子	看
熊本東支部	赤松 房子	助	熊本赤十字病院	水俣・芦北支部	潮崎 伸子	看	熊本総合病院
	中川 里美	看	熊本赤十字病院	人吉・球磨支部	船場よし子	看	くまもと芦北療育医療センター
	稲田 清美	看	熊本市立熊本市市民病院	渡辺 朋子	看	人吉医療センター	
熊本西支部	佐藤 優子	看	自衛隊熊本病院	天草支部	本川恵美子	看	芦北医師会病院
	吉野りつ子	保	熊本市西区役所	今井 利美	看	天草市立牛深市民病院	
	荒木佐由美	看	朝日野総合病院	理事会	永野 智子	保	熊本県看護協会
	荅 美恵子	看	熊本機能病院	今村かおる	看	熊本大学病院	
	田中 珠美	看	上代成城病院	溝口 美香	看	熊本総合病院	
	安藤 明子	看	特別養護老人ホーム サンビレッジ高平台				

令和5年度（2023年度）優良看護職員厚生労働大臣表彰受賞者（令和5年3月31日現在）

（令和5年6月8日受賞）

氏名	職能	施設
開田ひとみ	看	萬生会 法人本部
樋口 友子	看	天草地域医療センター
湯元 市子	看	国保水俣市立総合医療センター



2023年 看護の日記念式典 及び講演会



かんごちゃんとかまモン

日時 令和5年5月10日（水）13:30～16:00
場所 熊本城ホールシビックホール
参加者 364名（一般37名 看護職141名 看護学生167名 他19名）

プログラム

- 13:30 開会挨拶 本 尚美（熊本県看護協会会長）
- 13:50 優良看護職員県知事表彰
- 14:10 DVD「オハイエくまもと とっておきの音楽祭」
- 14:30 特別講演「生きなおす力を求めて～ケアする人、ケアを受ける人のために～」
講師：ノンフィクション作家 評論家 柳田 邦男氏

長かった新型コロナウイルス感染症の収束を待ちわびる中、「看護の日記念式典及び講演会」が開催されました。本会長より感染症対策の中、熊本県看護協会が熊本県と連携した活動について紹介があり、蒲島知事をはじめ来賓の方々からはコロナ禍における看護職の働きへの感謝とその慰労の言葉を頂きました。

優良看護職員熊本県知事表彰受賞者13名の方へ蒲島知事より永年の功績を称え表彰状が授与されました。表彰式では恒例の白衣姿のくまモンも登場し、会場からも笑いと拍手を頂き表彰式に華を添えました。

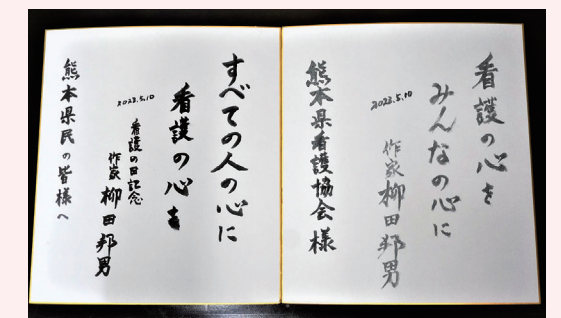
その後、ノンフィクション作家で評論家の柳田邦男氏の講演があり、看護の「考える力」には科学的視点の3人称に加え、寄り添う2.5人称が必要であること 5感を最大限に活かし物を見て感じる力 心で感じる力を看護に活かすことを熱く語られ、その思いが伝わってきました。

今年は「看護の日」のキャラクターかんごちゃんも初お目見えし、「かわいい」という声援があがり新しいアイドルの誕生に盛り上がりました。

熊本西地区理事 猪本 伸子



講師 柳田 邦男氏の講演の様子



柳田 邦男氏からのメッセージ

令和5年度 熊本県看護協会 通常総会

令和5年6月17日、熊本県立劇場演劇ホールにおいて「令和5年度熊本県看護協会通常総会」が開催されました。参加者人数は役員20名、会員570名、委任状11,350名、議長3名、総数11,943名で、本尚美会長が開会の挨拶をされ開始となりました。本会長の挨拶のなかでは、新型コロナウイルス感染症が確認されてから3年以上経過し、5月8日に感染症法上5類へ移行。少しずつ日常生活を取り戻しつつあるが、まだウイルスが根絶したわけではない現状で、それぞれの現場で対応されている保健・医療・福祉など様々な領域で熊本の地域医療を支えていただいている看護職の皆様へ感謝の言葉を述べられました。また令和4年度の事業もオンラインの併用と感染対策の徹底を行い、ほとんどの事業を中止することなく実施できたことを報告されました。今年度の重点政策は、昨年度に引き続き、①地域包括ケアを支える看護提供体制の構築 ②看護職の働き方改革の推進 ③看

護の質向上と人材育成 ④地域における健康危機管理体制の強化 に取り組んでいくと述べられました。

また看護協会会員として長年にわたり貢献された、29名の方が熊本県看護協会会長表彰を受賞されました。

総会では提出議案として、第1号議案:熊本県看護協会定款の見直しについて、第2号議案:令和4年度決算報告及び監査報告、第3号議案:令和5年度改選役員及び推薦委員の選出・令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出があり、すべての議案が賛成多数により可決され、今回3名の役員が退任となりました。

令和4年度事業報告の質疑応答では活発な意見交換が行われ、実りある総会となりました。

(文責 広報委員会 跡上 知美)



職能別交流集会開催報告

保健師職能・助産師職能合同交流集会

保健師職能委員会
尾池 千賀子 熊本産業保健総合支援センター

日時 令和5年6月17日(土)14:00～16:00 会場 熊本県立劇場 演劇リハーサル室

テーマ:母子の笑顔のために～保健師・助産師でつくる母子の地域包括ケア～

情報提供:「こども家庭庁の創設と母子保健事業について」 熊本県子ども未来課 三宅 あゆみ氏

話題提供:①熊本市西区保健こども課 保健師 吉本 文氏 ②熊本労災病院 助産師 増永 さくら氏



助産師職能委員会における3年間の産後ケア研修会を契機とし、保健師・助産師両職能がお互いの母子支援の現状と役割を共有することで連携を深め、周産期の母子に対して切れ目のない支援の実現を目指すことを目的として、上記交流会を開催いたしました。参加者は保健師、助産師、看護師、学生の計77名、両職能委員を含めると合計99名の参加がありました。

現在、貧困やいじめ、虐待など子どもに関わる課題がクローズアップされています。それを受けて令和5年に創設されたこども家庭庁の創設の経緯や役割、「こどもまんなか熊本」の取り組みについて紹介があり、今後母子の地域包括ケア体制の構築を進めるにあたり、保健師・助産師の関わり的重要性について理解を深めました。

話題提供では、保健師職能および助産師職能から事例提供があり、両事例は、支援が必要な妊婦への継続的な関りのためには、保健師による母子手帳交付時の面接から始まり、その後病院助産師と連携し退院後の支援に繋げることで、切れ目のない母子支援の提供につながることを学ぶ貴重な機会となりました。

後半のグループワークは、短い時間の中この3年間を吹き飛ばすほどの熱気あふれる議論が交わされました。アンケートの結果でも、「多職種や他施設との交流が深められたのは貴重であった」「自身の活動について振り返る機会となった」等の意見が聞かれ、交流集会全体を通してお互いの活動を知り連携の重要性を学ぶ有意義な時間となりました。

今回の交流集会を機に、今後、両職能が各々の専門性を発揮し、さらに連携強化していくことで、切れ目のない効果的な母子の地域包括ケアに繋げていくことを期待しています。

看護師職能委員会Ⅰ・看護師職能委員会Ⅱ合同交流集会

看護師職能委員会Ⅰ
久保 公子 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院

日時 令和5年6月17日(土)14:00～16:00 会場 熊本県立劇場 演劇ホール

講演:「治す医療からささえる医療へ～超高齢多死社会における看護師の役割～」

永森 克志氏 医療法人社団ささえる医療研究所 ささえるクリニック 院長

2023年6月17日熊本県看護協会通常総会後、看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同で交流集会を開催いたしました。新型コロナウイルスが5類感染症へと移行しそれまでの会場規制も解除され、164名の方が参加されました。

永森氏は2007年夕張市の財政破綻を経験されました。深刻な医療崩壊の中、医療者として取り組まれたのは高齢者が幸せに暮らせる「まちづくり」でした。身近で小さなコミュニティ作りを始めると、様々な年代の住民や医療者が集まり次第に健康への意識が高まり、そして結果的に医療再建へとつながったと話されました。質疑応答も活発に行われ、アンケートでは、「地域の健康を支えるとは、大きな事業展開でなく手の届く少し先とつながることだと分かった」「地域を理解し入院だけでなく、地域で生きる患者のことを支えていきたい」「高齢者のためのまちづくりへのシフトという認識を若い人達から高齢者まで共有していくことが重要」「闘う医療とささえる医療のバランスの大切さを学んだ」との感想を頂きました。「内容」については「満足」「大変満足」が97.7%、「今後活かせる」が78.2%と満足度の高い交流集会となりました。

地域包括ケアシステムが目指す地域で支え・支えられるまちづくりの実際をお話しいただき、超高齢多死社会において「医療」と「生活」の両方の視点をもつ看護職として身近な地域に関心を持つこと、楽しみながら看護することなど示唆に富んだ講演でした。



講師の永森克志氏

令和5年度

新 任 者 紹 介

令和5年度 新役員紹介



保健師職能理事

田原 美樹 熊本県山鹿保健所

新型コロナの5類移行に伴い、延期・中止となっていた各種事業が次々と始まっています。withコロナにおける関係者との顔の見える連携の再構築や人材育成等の課題に対し、各分野の保健師のネットワーク及び多職種との連携により皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。



熊本東地区理事

桑原 美保 熊本市市民病院 看護部長

今年度より熊本東地区理事を務めさせていただくことになりました。コロナ対応から3年、今年5類へ移行し、環境が大きく変化する中で常に安心、安全で柔軟な対応を求められる看護職の役割は大きいと思います。看護職・支部活動への支援と看護協会の重点政策・事業の達成に向けて尽力して参ります。よろしくお願いいたします。



上益城・宇城地区理事

松岡 真由美 谷田病院 看護部長

この度宇城・上益城地区理事を拝命しました。社会の動向は刻々と変化しています。私たち看護職の「看護の視点」という言葉の意味するところに関して、共通の理解をもち看護が展開できるよう、保健・医療・福祉一丸となり活動に努めてまいります。また、会員と、熊本県看護協会発展ため、微力ながら尽力していく所存です。どうぞ、宜しくお願い致します。

令和5年度 新支部長紹介



鹿本支部長

税田 葉子 保利病院 総看護師長

コロナウイルス感染症が5類に移行した事で、今まで自粛されたいた支部での研修会や地域での関連会議も以前のように通常化していくことと存じます。病院や施設との連携強化と会員が満足できる活動ができるよう支援する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



阿蘇支部長

小野 陽子 大阿蘇病院 総看護師長

阿蘇支部長を務めさせて頂くことになりました。新型コロナウイルスが5類感染症に変わりましたが、看護職への期待や責務は高まる一方と思います。尚一層、熊本県看護協会、支部役員、会員の皆様と連携して地域及び各施設、病院の為に尽力していきます。御協力、御支援を宜しくお願い致します。



熊本東支部長

稲葉 眞理 水前寺とうや病院 看護部長

今年度より、熊本東支部の支部長を務めさせていただくことになりました。長期化するCOVID-19感染症や温暖化・豪雨による自然災害など看護職を取り巻く環境は厳しく、現状と向き合う中で、役割期待が高まるのを実感しています。私たちに求められる役割を少しでも達成できるよう、「今できることは何なのか」東支部役員とともに考え、熊本県看護協会と連携を図り取り組んでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



熊本西支部長

木田 富美子 武蔵ヶ丘病院 看護部長

今年度より熊本西支部長を務めさせていただくことになりました。新型コロナウイルス感染症が5月より5類感染症に位置づけられ私たち医療者の生活も少しずつ緩和されつつあります。支部活動・看護協会の活動が円滑に進むよう支部役員と連携をとりながら取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



上益城支部長

黒木 あけみ 山都町包括医療センターそよう病院 総看護師長

今年度より上益城支部長を務めさせていただくことになりました。新型コロナ感染症は5類となりましたがまだ慎重な対応が残る日々です。支部活動を通して保健・医療・福祉がしっかり連携し、支部会員さん、地域住民が安心した日々が送れるように還元していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



八代支部長

倉田 美香 八代市医師会立病院 看護部長

今年度より八代支部長を務めさせて頂きます。新型コロナウイルス感染症も5/8から感染症法上の位置づけが5類となり、生活形式が変化してきている中、看護職の役割は大きいと思っています。支部活動が円滑に行えるよう取り組み、地域住民の皆さまが安心して住み慣れた場所で生活できるように、会員の皆様と一緒に看護連携体制の充実を図ります。皆様のご協力・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



人吉・球磨支部長

富永 ひさみ 公立多良木病院 看護部長

医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、及び医療体制の多様化等により変化しています。このような環境の変化に応じて、看護職員には、質の高い医療サービスの提供者として今後ますます幅広い役割を担っていくことが期待されることから、看護職員の資質・能力の一層の向上が求められます。看護職一人ひとりが看護職として働きやすい環境を整えることを目的に熊本県看護協会と連携して活動してまいります。

シリーズ

タスク・シフト /シェア

医師の働き方改革の一環として、医師に偏在している業務の一部を移管したり、共同実施したりすることをそれぞれタスクシフト・タスクシェアと呼びます。タスク・シフト/シェアはそれらの総称です。

タスク・シフト/シェアは、看護師や薬剤師などの医療従事者がそれぞれの専門性を活かせるよう業務分担を見直すことで、医師の負担軽減と同時にチーム医療の水準を上げることを目指しています。今内容はシリーズ化し、次号へも掲載予定です。是非とも、ご覧下さい!!

令和5年度 新委員紹介

保健師職能委員会



熊本市 妊娠内密相談センター
坂本 まゆ
熊本市南区役所 保健こども課
瀬上 かおる

助産師職能委員会



福田病院
上野 明日香
水俣市立 総合医療センター
田中 聖子
ゆのほら産婦人科医院
城 さやか

看護師職能委員会 I



人吉医療センター
赤池 直子
あおば病院
坂井 宏光

看護師職能委員会 II



在宅看護センター
上益城たのも訪問看護
中原 貴子

教育委員会



熊本保健科学大学
吉野 拓末
済生会熊本病院
森崎 真美
たっくりハ サポートセンター
河添 こず恵
熊本市立 熊本市市民病院
橋本 聡子
熊本市立植木病院
友田 孝子

広報委員会



熊本整形外科病院
熊谷 好恵
桜十字熊本東病院
森 あかね
八代北部地域医療センター
上村 昌弘
西日本病院
緒方 祥子

準備委員会



熊本市立植木病院
高野 光
くまもと成仁病院
小野 優子
熊本回生会病院
川本 由衣
あきた病院
金子 美幸

会員委員会



阿蘇温泉病院
下村 美智子
平成とうや病院
吉水 かおる
医療法人愛生会
越替 裕佳
桜十字病院
高木 真寿美
御幸病院
荒木 康子

看護制度委員会



熊本医療センター
松野 順

医療看護安全対策委員会



山鹿市民医療センター
宮本 裕子
熊本赤十字病院
荒木 富久美
和水町立病院
末藤 穂浪
済生会熊本病院
高木 望
あおば病院
岩本 卓也
訪問看護ステーション Cruto
松田 康裕

災害看護対策委員会



熊本県医療政策課 看護班
大田黒 千春
熊本リハビリテーション病院
池邊 由香

熊本市市民病院の取り組み

報告 桑原 美保 熊本市市民病院 看護部長



当院は病床数388床、32診療科、看護師実働426人の10対1看護体制の病院です。R4年度の実績は、年間入院患者数9,354人 手術4,529件 救急車搬入5,605台 救急患者10,966人 外来患者(初・再)116,827人を受け入れ 平均在院日数は11.3日でした。

当院では、各部門の業務改善について管理部門と業務改善委員会で検討しています。職種の中で人数の多い看護師が院内の多くの業務を引き受け負担が大きくなっていったことから、看護師の専門性が発揮できるように

部署ヒアリングにて他職種への業務の移管・共同を要望しました。そこで病院全体で業務内容や役割の見直し、時間の調査等を行い、他職種によるタスク・シフト/シェアが可能となり、看護師の負担軽減と専門性を発揮した業務ができるようになりました。以下その一部です。

1. 医師から看護職へ

- 1) 看護師：①救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく トリアージ・採血・検査の実施
②麻酔科医と協働して周術期患者への安心安全で質の高い手術医療、看護の提供
※ 特定行為看護師養成研修受講中 (R5年度術中麻酔管理領域)
- 2) 助産師：助産師外来にて医師との連携協力の下行う正常な経過をたどる妊婦の妊婦健診、分娩の管理、母子の健康管理

2. 看護師から他職種へ

- 1) 臨床工学技士：手術室各部屋の麻酔器の点検・準備 全病棟患者の呼吸器の点検・管理
- 2) 薬剤師：患者へ服薬指導と退院指導の拡大 持参薬鑑別
- 3) 検査技師：朝8時から採血室に配置する外来採血担当職員の確保
- 4) 検査技師と放射線技師による患者搬送
- 5) 放射線技師：手術中の透視装置の操作
- 6) 医師事務作業補助者 病棟事務 ナースエイドアシスタント導入 外来AI問診導入予定

このように、医師からのタスクシフトにより看護師・助産師の専門性がより発揮できるようになり、また他職種へタスクシフトしたことで効率的な時間活用と検査の円滑化につながっています。

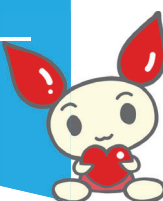
今後他職種との協働により安心・安全な医療をタイムリーに提供するとともに、看護師等がさらなる専門性を発揮し、より質の高い医療が提供でき、やりがいを感じられる環境作りにつとめます。



Interview

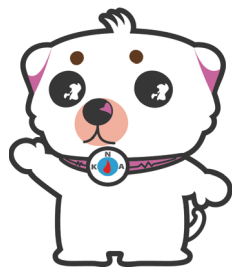
熊本県赤十字血液センター

熊本県献血推進の取り組み



献血推進キャラクター「けんけつちゃん」
©厚生労働省

熊本県献血推進会議の委員として看護協会理事が参加しており、献血が不足している現状を知り、今回の取材が実現しました。



令和5年6月7日(水)熊本県における献血の現状と献血推進の取り組みについて 熊本県赤十字血液センター 献血推進課長の岩根一己様にお話を伺いに行ってきました。



Q 血液センターの役割について教えてください。

A 血液センターは移動献血車・献血ルーム(熊本県の場合:日赤プラザ献血ルーム・下通り献血ルームCOCOSA)で

献血して頂いた血液を九州ブロック血液センター(福岡県久留米市)に送ります。そこで赤血球・血漿・血小板に分離し、輸血の安全性を確保するための厳しい検査を受け、輸血用血液製剤として各県血液センターに送られてきます。それを各医療機関からの要請に応じて届ける役割を行っています。つまり献血の入口と出口の役割です。

Q 直近の献血の現状を教えてください。

A この約3年間は新型コロナウイルス感染症で、会社はリモートの普及、また学校は休校等で行動制限を余儀なくされた結果、献血者が減少し、血液製剤の需要と供給のバランスをとることが困難な状況です。400mL献血・成分献血共に減少傾向で特に年代別では10～40代の献血者の減少が目立ちます。

Q 新型コロナウイルス感染症が収束傾向ですが、献血者の増加傾向につながっていますか。

A ショッピングモール等に献血バスが行くのですが、特に今年のゴールデンウィークは行動制限の緩和等もあって長期の旅行や帰省された方が多く、思った以上に献血者の増加に結びついていないのが現状です。

Q 献血増加に向けて色々取り組みをされていますが、その一つでWeb会員サービス「ラブラット」について教えてください。

A Webサイト・アプリからの献血予約ができたり、事前問診回答ができます。また会員特典で献血する毎にポイントが貯まり、貯めたポイントでオリジナル

記念品と交換できます。健康診断ツールとしても使え、献血記録を一早く確認できるお得なアプリです。

Q そのほか課題と対策はありますか。

A 若年層の献血者増加対策として、10・20代の方で初めて献血して頂いた方へモバイルバッテリーをプレゼントしています。また1人の方が年間に複数回献血することをお願いしたり、予約献血の推進を行っています。

Q 医療施設へのお願いがありますか。

A 血液製剤は献血して頂いた方の善意が詰まっています。「すぐ持って来てくれる」と安易に考えず大切に扱って頂きたいと思えます。輸血用血液製剤の取り扱い方など無料で出前授業を行っていますので是非、活用してください。また医療施設での献血バスの配車や献血ルームでの献血にも是非ご協力をお願いいたします。

インタビュー終了後、献血ルームの案内をして頂きました。献血受付もスムーズで献血される方もリラックスしながら献血を受けていらっしゃいました。また中庭の木漏れ日が差し込む中待合室で、ゆったりとした時間を過ごす場所としても最高です。ちょっとした穴場かもしれません。皆さん行ってみてください。岩根様お忙しい中ご協力ありがとうございました。

文責 熊本西地区理事 猪本 伸子

お問合せ

- ・医療施設での献血協力について
- ・献血Web会員サービス「ラブラット」について

熊本県赤十字血液センター 献血推進課
TEL: 096-384-6725
E-mail: kmmmt-kenketsu@qc.bbc.jrc.or.jp

出前授業申込みのお問合せ

- ・輸血用血液製剤の取り扱い等
- 講師料 無料

熊本県赤十字血液センター 学術情報・供給課
TEL: 096-384-6729
E-mail: m-nakayama@qc.bbc.jrc.or.jp
学術担当: 中山、緒方

新たな災害支援ナースの仕組み 始まる



国の感染症対応の動き

新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取り組みを踏まえ、2022年12月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」(令和4年法律第96号)が制定されました。これにより、感染症発生・まん延時における国による広域での医療人材派遣の仕組みや、派遣される医療人材の養成・登録等の仕組み等が法制化されました。日本看護協会及び都道府県看護協会の災害支援ナースについても、DMAT・DPATと並ぶ応援派遣体制となることが想定され、同法は2024年(令和6年)4月から施行されます。

新たな災害支援ナースの仕組みの構築

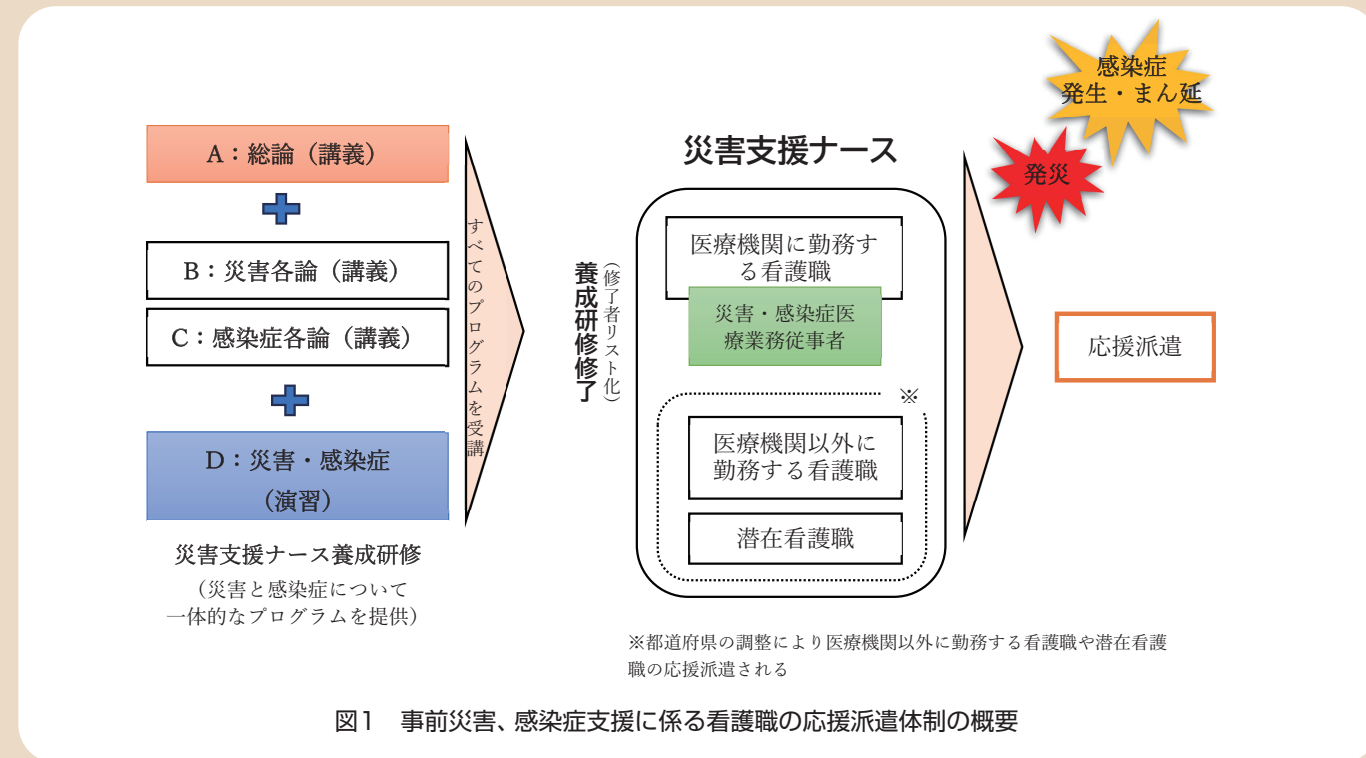
現行の日本看護協会の災害支援ナース派遣のしくみは、自然災害のみが対象であり、法的根拠に基づくものではありませんでしたが、国が災害と感染に対応できる看護職の応援派遣体制の仕組みを、新たに構築することになりました。これに伴い、従前の看護協会独自の応援派遣の仕組みは発展的解消となります。

令和6年度からは、新たな仕組みによる応援派遣となり、熊本県と協定を締結した医療機関からの在籍派遣となります。

なお、潜在看護師や医療機関以外に勤務する看護職については、県または看護協会が雇用し派遣を行います。

今後の災害支援ナース養成研修と登録について

新たな災害支援ナースとして登録するためには、令和5年度から開始される「災害支援ナース養成研修」図1のA～Cの講義(オンデマンド研修)4日間とD演習(集合研修)2日間の計6日間の研修受講が必要です。現在災害支援ナースとして登録されている方については、研修の一部を免除する規定がありますが、今後も引き続き災害支援ナースとして活躍いただくためには、本年度から3か年の間に計画的に研修を受講していただく必要があります。養成研修の日程等詳細については今後研修案内等でお知らせしていく予定です。養成研修参加については、各施設の看護管理者を通してお申込ください。新たに災害支援ナースを目指しておられる看護職の皆様も、是非ご受講ください。



帰ってきた / 看護くまもと川柳

大人気企画が帰ってきました!お題に合わせて、皆様の思いを川柳にしてみませんか♪

応募はコチラから!



お題

- ①自分の職場あるある
- ②物価高と私

冬号(128号)で優秀作品を発表します
入賞者には賞品もご用意しています
※賞品は発表後に郵送いたします

賞品

クオカード

- 5,000円分×2人
- 3,000円分×2人
- 2,000円分×5人

【応募締切】
令和5年
12月8日(金)

事務局

だ よ り

理事会開催報告

令和5年度 第2回理事会

- 日時 令和5年5月18日(木) 15:30～
場所 熊本県看護研修センター 第2研修室
協議事項
- 令和4年度第2次補正予算案について
 - 令和4年度熊本県看護協会決算報告(案)及び会計監査報告について
 - 令和5年度第一次補正予算案について
 - 公益法人制度定期提出書類別表A～C(案)について
 - 令和6年度(2024年度)地域医療介護総合確保基金(医療分)に係る新規事業の提案について
 - 令和5年度熊本県看護協会通常総会運営等について
 - 令和5年度熊本県看護管理者会について
 - 看護くまもと126号の企画(案)について

令和5年度 第3回理事会

- 日時 令和5年6月17日(土) 16:30～
場所 熊本県立劇場 第3楽屋
協議事項
- 副会長の選定について(定款第5章第22条第2項)
 - 熊本県看護協会理事会運営における理事会の招集権者と職務権限の代行順序(案)について
 - 公益法人制度定期提出書類 別表A～C(案)について
 - 役員改選に伴う役員の職務分担(案)について

令和5年度 第4回理事会

- 日時 令和5年7月13日(木) 14:00～
場所 熊本県看護研修センター 第2研修室
協議事項
- 令和5年度第1回支部長会(案)について
 - 令和5年度地区別看護管理者会(案)について
 - 推薦・派遣、後援・共催依頼(案)
 - 「看護くまもと126号」川柳表彰について



編集後記
残暑お見舞い申し上げます。まだまだ猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は各地で花火大会などのイベントも開催されています。広報委員は、今年度4名の新メンバーが加入しました。これからも皆様に楽しんでいただけているような情報をお届けしていきたいと思っております。(文責:森 あかね)

熊本県看護協会会館整備資金納入施設名簿

期日 令和5年4月1日～令和5年7月31日

施設名	件数	金額
天草病院	1	30,000
熊本市民病院	8	240,000
熊本託麻台リハビリテーション病院	5	150,000
荒尾市民病院	1	30,000
上天草総合病院	2	60,000
熊本大学病院	41	1,230,000
合計	58	1,740,000

看護くまもと 第126号

発行日 令和5年8月18日(金)
発行者 本 尚美
編集者 広報委員会
発行所 公益社団法人 熊本県看護協会
熊本市東区東町3丁目10番39号
TEL 096-369-3203
FAX 096-369-3204

令和5年度 会員納入会員数
15,075名(令和5年8月4日現在)
表紙 菊池深谷(撮影:広報委員会 緒方 祥子)